

久留米工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	リベラルアーツ特論2 (フーリエ変換入門)	
科目基礎情報							
科目番号	4CR37		科目区分	一般 / 必修			
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	生物応用化学科		対象学年	4			
開設期	後期		週時間数	2			
教科書/教材	指定しない						
担当教員	小山 暁						
到達目標							
フーリエ変換の基礎と応用を学ぶ。様々なデータの離散フーリエ変換を行い、フーリエ係数を求めるコードを作成する。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	フーリエ変換の標準問題を解くことができる。		フーリエ変換の基礎問題を解くことができる。		フーリエ変換の基礎問題を解くことができない。		
評価項目2	フーリエ変換の応用例を十分理解できる。		フーリエ変換の応用例をある程度理解できる。		フーリエ変換の応用例を理解できない。		
評価項目3	各種時系列データや空間データのフーリエ係数を求めるためのコードなどを、自立して作成できる		各種時系列データや空間データのフーリエ係数を求めるためのコードなどを、教員の助けを得ながら作成できる		各種時系列データや空間データのフーリエ係数を求めるためのコードなどを、作成できない		
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー 4							
教育方法等							
概要	フーリエ変換の工学的応用例を概観し、フーリエ級数展開、フーリエ変換、離散フーリエ変換を学ぶ。また、離散フーリエ変換のコードを自作し、或いは、各種コンパイラ等の離散フーリエ変換ライブラリを使用して、実際のデータのフーリエ係数を求める。前期は、主に、理論の学習に当てる。特に、デルタ関数の理解を確実なものとし、理論を応用する際の準備をする。後期は、主に、プログラミング言語 Python を使った、離散フーリエ変換のプログラミング演習を行う。演習では、離散フーリエ変換の数値計算、パワースペクトルの数値計算、ローパスフィルタによるノイズ除去の数値計算を実施する。						
授業の進め方・方法	講義と演習により行う。講義・演習・成果物(課題含む)提出など、この授業に積極的に参加することを期待する。						
注意点	必要な数学は随時説明してゆく。初回授業で、フーリエ変換の応用例(信号解析・画像圧縮・CTスキャンなど)を示す。その後、前期は必要な数学の学習に充てる。後期はグループごとに離散フーリエ変換のコード作成を行う。コンピュータ言語(C/C++, BASIC, Python, Fortran等)によるコード作成を経験したことがある学生、或いは、経験が無くても意欲ある学生の受講を歓迎する。後期はPCを使い実習をするので、PCを持参してください。						
授業の属性・履修上の区分							
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応		<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
後期	3rdQ	週	授業内容	週ごとの到達目標			
		1週	その他の超関数	単位階段関数、矩形窓関数、符号関数、畳み込み定理			
		2週	離散フーリエ変換 1	離散フーリエ変換の導出 1			
		3週	離散フーリエ変換 2	離散フーリエ変換の導出 2			
		4週	離散フーリエ変換 3	無次元化された離散フーリエ変換・逆変換、無次元化された離散フーリエ変換の行列表示、高速フーリエ変換ライブラリの利用			
		5週	パワースペクトルと信号解析	フーリエ級数展開のパワースペクトル、離散フーリエ変換のパワースペクトルと数値計算、パワースペクトルの対称性			
		6週	総合演習 1	グループごとにコード作成			
		7週	総合演習 2	グループごとにコード作成			
	4thQ	8週	総合演習 3	グループごとにコード作成			
		9週	総合演習 4	グループごとにコード作成			
		10週	中間発表	総合演習の中間発表			
		11週	総合演習 5	グループごとにコード作成			
		12週	総合演習 6	グループごとにコード作成			
		13週	総合演習 7	グループごとにコード作成			
		14週	総合演習 8	グループごとにコード作成			
		15週	最終発表、後期のまとめ	総合演習の最終発表、後期のまとめ			
16週							
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	25	15	0	60	0	100
基礎的能力	0	10	5	0	20	0	35
専門的能力	0	5	5	0	20	0	30
分野横断能力	0	10	5	0	20	0	35